# 事務局だより

吉田 和雄

◆私の大好きな薔薇の花が、家々の生け垣や鉢植えに色とりどりの花を咲かせています。青葉も勢いよく伸びる美しい季節となりました。自然は移ろい、初夏の快適さを提供してくれるのに、この国の政治・社会のあり様は暗雲垂れ込めるばかりです。

◆そんな折、私たちは5月3日の憲法記念日の朝日新聞に見開き2ページ、フルカラーの市民意見広告を実現しました。8150人が描いた虹が、政治の暗雲をかき消すように。

◆市民意見広告運動の経過については、意見広告運動の事務局長を担った野澤報告を是非ご一読いただければと思いますが、毎年のことながら、多くの献身的な事務局スタッフの皆さんや、新たにボランティアとして作業に加わって協力いただいた皆さんの力があって実現したものであることをこの場を借りて報告させていただきます。

◆とはいえ、実は今年も?!意見広告が実現できるのか、波瀾万丈の日々がありました。朝日新聞のフルカラー2面広告を出すにはまだ賛同金の目途が立たず、紙面のデザインをどうしようか侃々諤々の議論をしていた4月1日、「○○（某大物女優）さんが急遽、意見広告のモデルを引き受け、本日写真撮影会を行ないますので、見学したい人は○○時までにXX神社まで」のメールが飛び込んできました。メールの発信者は連日事務所で意見広告運動や意見の会の事務を取り仕切る真面目が服を着たようなTさん。僕は「あ～仕事で行かれへん。○○さんを直に見られる千載一遇のチャンスやったのに……。これを宣伝したらお金ももっと集まるなあ」とビッグニュースの成り行きに注目しましたが、続報が一切流れてきません。後日の会議で、エイプリルフールの虚言だったことが判明。「あのメールを信じた人はいますか」と聞いたら、信じた人にはなぜか男性が多かった。

◆長年、意見の会と意見広告の入力作業やデータチェックを担当していただいたMさんが高齢を理由に事務局を引退されると聞いてガッカリしていたところ、発送や宛名ラベル貼り作業などには、これからも参加してくださるとのこと。市民の意見の会には「引退」の2文字はありません。いつでもご自由にお訪ね下さい（前号で、紙製のトリが事務所にぶら下がっているが、わざわざ見に来るほどのものではないと書いたら、提供者の吉川さんから「あの書き方は失礼だろう」とお叱りを受けました。皆さん、一度見学に来て下さい！）。

◆次号（8月1日号）が出される頃には、東京都議選、参院選の結果が出ています。結果は大方の予想通り自民党、保守、改憲政党の大幅議席増に終わるかもしれません。既にそうした空気がマスコミの予想では充満していますが、私たちはそうした空気に流され、アキラメ、何もしないでいることはできませんし、したくありません。

◆私個人は、今夏初めて国政選挙に挑戦する、市民運動から生まれた「エコでピースでフェアな社会をめざす」政党を支持するものですが、改憲勢力を1議席でも減らすための護憲勢力の結集を訴えることも大切です。そんな中、今号に登場する「全日本おばちゃん党」という試みもオモロイで。おばちゃん「はっさく」は「うちの子もよその子も戦争には出さん！」「税金はあるところから取ってや。けど、ちゃんと使うならケチられんわ」など。「腹太の方針」では「ステルスよりも豚まん買うて」「外国との問題はできるだけ話し合うて解決したら、戦車や戦闘機のお金はスリム化できるやろ」そこで浮いたお金は「ウエストのお肉をバストに寄せて上げるように」福祉や生活に回せなど「市民の意見」の30項目の見直しにつながるような刺激を受けました。「希望は戦争」と揶揄したワーキングプアの屈折した〝作家〟もいましたが、「希望は自由な言論」に宿るものです。

（よしだ・かずお／事務局長）